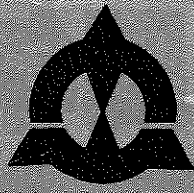


市制施行30周年記念特集号



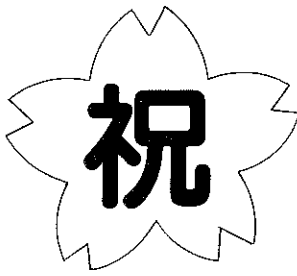
広報

かつやま

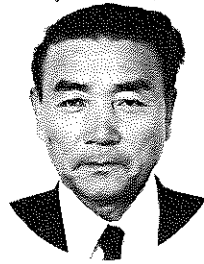
1984 9月

つくりかた
つくる21世紀の勝山

昭和59年8月撮影



市制施行30周年

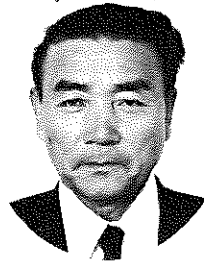


勝山市議会議長
西出 巖

行政の広域化という社会的要請にこたえ、一町八カ村が大同合併し、昭和二十九年九月一日新生勝山市が誕生して以来、ここに市制三十周年の記念すべき日を迎えるにあたり、心からのお喜びとお祝いを申し上げます。

さて、新たな期待と歓喜をもって誕生した新生勝山市の前途には、ひっ迫した財政事情に加え、中学校統合問題等の行政課題が山積しているなど、極めて厳しい船出を余儀なくされたのでございます。

また、この間、再三にわたる風水害や異常豪雪、オイルショックによる急激な経済変動に遭遇するなど、まさに激動の三十年でございましたが、市民英知の結集のもと、たゆみない努力と不とう不屈の精神により幾多の難局を乗り越え、市勢の飛躍的伸展をみることでございましたこと、まことにご同慶にたえません。

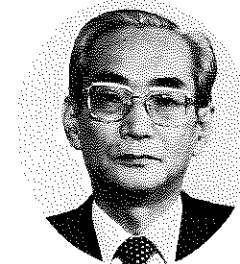


勝山市長
池田 勤也

二度にわたる財政再建および伊勢湾台風、第二室戸台風、三八豪雪、四〇・九三大風水害、五六豪雪などの自然災害は、歴代の市長や関係者、市民を苦しめてまいりました。

しかし、それらをみごとに克服し、市民の皆さんの英知と努力の結果により、国道四一六号の昇格をはじめ幹線道路網、上・下水道の整備、教育・文化・福祉施設の充実など着実に社会資本の拡充がはかられ、市勢の飛躍的伸展をみることでございました。

現在、我が市は未来の姿として「創造力豊かな精神文化の誇り高い人間都市づくり」「産業経済の調和のとれた安らぎの田園都市づくり」「創意工夫の盛んなソフト産業都市づくり」を二本の柱とする「情報環境都市」の建設を目指して、諸施策をすすめています。



市民の皆さんとともに、心から喜び申し上げます。

この過ぎ去った三十年は、市勢躍進の歩みであるとともに、まさに勝山市の試練の歴史でもありません。

記念すべき三十周年を契機に、今後意を新たにして、地場産業の振興、法恩寺山の開発と越前大仏建立に伴う観光開発、青少年対策、高齢者対策などに取り組みとともに、二十一世紀に向かって「情報環境都市・勝山」の実現のため、さらに飛躍をはかってまいりたいと思っております。

市民の皆さんの深いご理解とご支え、ご協力をお願い申し上げます。

勝山市には、古く縄文時代から九頭竜川の両河岸段丘に古代先住民が生活していました。このことは、三室遺跡をはじめ点在する遺跡によって明らかです。

平泉寺の興亡

大正八年(一九一八年)に、天正八年(一五八〇年)、柴田勝安は袋田村——今の市民会館の位置に居城を築き、縁起を祝って袋田を勝山と改め、城を勝山城と名づけました。

地名の起こり

この勝ちいくさを祝福して、一揆勢がたてこもった村岡山を「勝ち山」と呼ぶようになりました。

明治以降の変遷

明治二年(一八六九年)の版籍奉還、同四年(一八七一年)の廃藩置県という改革の後、従来町村の形を改め、

市制発足

昭和二十九年(一九五四年)九月一日、町村合併促進法に基づき、一町八カ村が合併、県下で六番めの市として、新生勝山市が発足しました。人口三万九千四十三人、面積二百五十三平方キロ。

勝山のわだち

大師によって、白山中宮平泉寺が開かれ、この地は、白山信仰の一大拠点となりました。

やがて、平清盛や木曾義仲の保護を受け、源平合戦に介入し、南北朝争乱には北朝に加担して勢力を得ました。

その後、戦国大名朝倉氏もこれを保護したので、寺領数万石、四十八社三十六堂六千坊と称する平泉寺の黄金時代が築かれました。

平泉寺を中心に座(同業組合)がつくられ、商工業が繁栄し、また、文化も大いに高まり、越前文化の中心的存在として栄えました。

小笠原氏の入封

時代は豊臣、徳川とあわただしく移り変わりましたが、勝山の領主も次々と変わりました。

数カ村をまとめて小区とし、さらに小区をいくつか合わせて大区に編成しました。勝山地方はだいたい、三つの大区と十七の小区に分けられました。

その後、若干の変遷があり明治二十二年(一八八九年)町村制が実施されました。今の勝山市の地域は、勝山町、平泉寺村、猪野瀬村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村、遅羽村の一町九カ村でした。

昭和六年(一九三一年)猪野瀬村が勝山町と合併しましたが、大野郡北部は一町八カ



▲勝山の歴史の暮明け 白山中宮平泉寺

▶今は市民会館が建っている 勝山城天守台跡



市広報第1号



29年9月 万歳で市制発足を祝う市民—勝山町役場前



本町通りのカーパレード

30年4月 市制祝賀祭



開庁式で多田孝之助市長職務執行者(旧勝山町長)のあいさつ



ちようちん行列に加わる山内継喜市長(写真中央)



33年7月 完成当時の新庁舎

勝山市・30年のあゆみ

29年

九月 勝山、平泉寺、村岡、北谷、野向、荒土、北郷、鹿谷、遅羽の一町八カ村が合併して勝山市誕生(二日)。九月 勝山市広報第一号発行(十五日)。十月 初代山内継喜市長就任。

30年

七月 平泉寺白山神社など白山国定公園に指定される。八月 初の市議会議員選挙。三十人当選。十月 第八回国勢調査実施。人口三万七、五五六人、世帯数七、四五一。

31年

二月 雁が原スキー場開場。五月 地方財政再建促進特別措置法による財政再建団体の指定。赤字額六、三〇〇万円、期間六年。

32年

一月 原山スキー場開場。九月 県下初の乳児保育所開く。十月 北部中学校開校。月市金庫を開設。

33年

四月 平泉寺巡見橋、新保橋完成。七月 市庁舎完成。十月 上水道事業着手。

34年

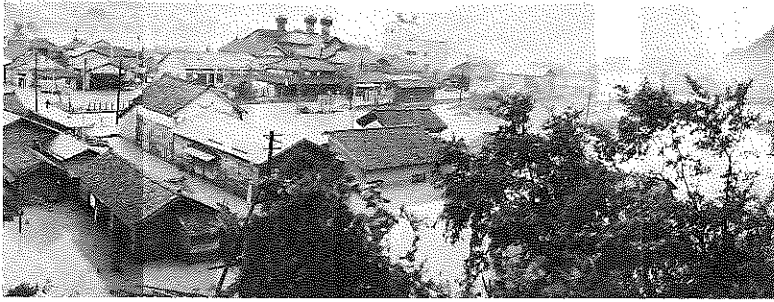
二月 北陸電力壁倉発電所完成。八月 台風七号来襲。被害額一億七、一四四万五、六〇〇円。九月 台風十五号(伊勢湾台風)来襲。被害額三億八、二九四万六、〇〇〇円。

35年

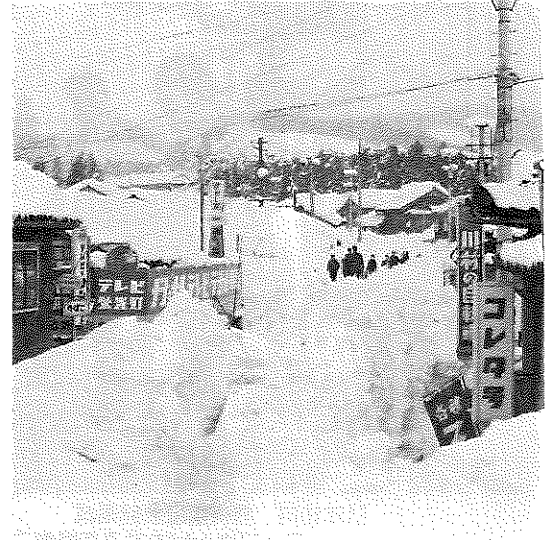
五月 平泉寺大渡地籍に新じん芥焼却場完成。十月 第九回国勢調査実施。人口三万六、五三一人、世帯数七、五八四。

36年

八月 市消防本部、消防署設置。十一月 市民課を設置。戸籍などの窓口事務を一本化し、スピード化をはかる。



40年9月 40・9風水害は死者6人、被害額約18億円という甚大な被害をもたらした 写真は千代田地区の浸水



38年1月 当市を襲った豪雪（沢通り）



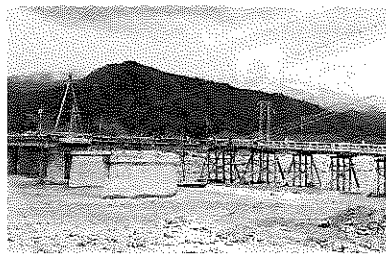
39年9月 市制10周年式典
山内譲市長より功勞者表彰



38年1月 一瞬に4家族16人の尊い生命を奪った横倉のナダシ



38年3月 勝山橋渡り初め



37年 勝山橋かけ替え工事



37年 建て替え前の旧消防署

37年 八月 市内初のプール完成。九月 市営射撃場完成。十月 第三代山内譲市長就任。十一月 白山国定公園が国立公園に昇格。十二月 消防庁舎完成。この年、市有林百万本植林達成。電話が自動化になる。

38年 一月 三八豪雪に見舞われ、被害一〇億五、五〇五万円。三月 勝山橋かけ替え工事完成。勝山病院、村岡町郡地籍に完成。六月 上水道建設事業完成。四年の工期と事業費九、二〇〇万円。

39年 三月 勝山新大用水完成。昭和二十七年以来十二年の歳月と九、三五二万円の経費をかけた。五月 勤労青年学校勝山女子高等学院開設。十二月 衛生処理場が完成し、操業開始。

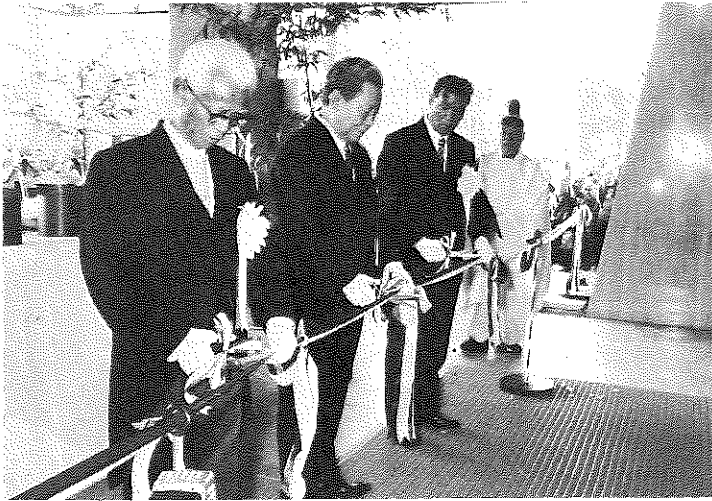
40年 九月 四〇・九三大風水害に見舞われ、死者六名、被害約一八億円。十月 第十回国勢調査実施。人口三万四、八二八人、世帯数七、四七三。

41年 四月 福井―勝山間県道舗装完成。十月 住居表示実施。十月 市営火葬場完成。十月 市初の文化財指定。

42年 五月 県下初の試み、留守家庭児童会発足。中部中学校開校。七月 市民会館完成。八月 大選挙区制、定数減員の市議会議員選挙、二十六人当選。

43年 三月 二回めの財政再建団体の指定。総額五億七、二〇〇万円、十三年償還。十月 福井国体開催。勝山市では四種目の競技が行われる。市荒川大橋完成。

44年 十二月 下荒井橋、下荒井トンネル完成。



51年10月 教育福祉会館落成
テープカットをする高野春三市長ら



49年8月 京福電車 勝山～大野間廃線



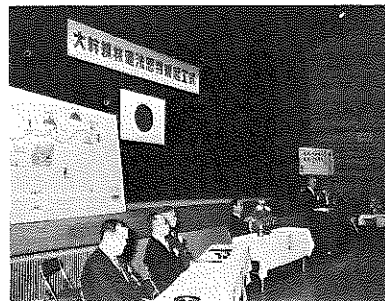
49年9月 市制20周年記念式典



51年10月 名誉市民第1号に
多田清氏を推挙(写真右)



50年8月
移転前の成器西小学校



48年3月 大幹線林道着工

52年

五月 農村総合整備計画対象市町村として選定。八月 公共下水道事業着工(七カ年計画)

51年

十月 教育福祉会館落成。名誉市民第一号に多田清氏を推挙。多田清氏からの寄付二億円をもって、多田育英基金設立。十二月 高野市長退職に伴い第六代池田勤也市長就任。

50年

三月 財政再建計画(十三年)五年短縮して完了。十月 第十二回国勢調査実施。人口三万一、〇二五人、世帯数七、六五二。

49年

三月 大阪市の相互タクシー社長多田清氏、教育福祉会館建設費として三億五、〇〇〇万円を寄付。四月 南部中学校開校(中学校統合計画完了)。八月 京福電鉄越前本線、勝山～大野間廃線。九月 勝山市史第一巻発刊。

48年

三月 勝山市総合振興計画策定。大幹線林道法恩寺線着工。延長二五キロ、総工費四億八、七〇〇万円の予定。

47年

四月 広域市町村圏計画まとまる。七月 国道一五七号新谷トンネル開通。大野・勝山地区広域行政事務組合設立。

46年

八月 勤労青少年体育センターオープン。十月 大野市、勝山市、和泉村を圏域とした大野・勝山地区広域市町村圏協議会を設置。

45年

七月 万国博に左義長まつりが県代表の郷土芸能として出演。十月 第十回国勢調査実施。人口三万二、六九一人、世帯数七、五三二。第五代高野春三市長就任。



55年8月 第一回織維総合祭盛大に行われる



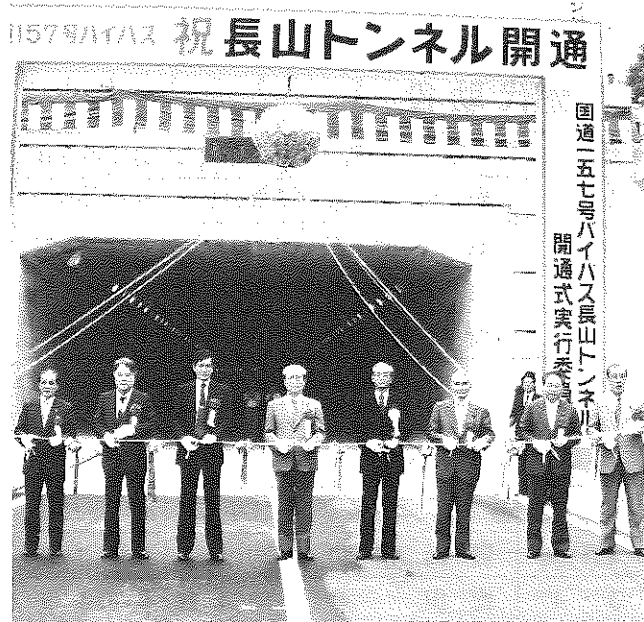
56年1月 猛威をふるった56豪雪最大積雪は山間部で4m50、市街地2m70にも達した。写真は桜通り



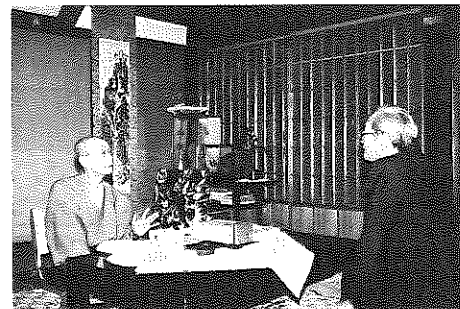
57年 越前大仏工事前の建立地



54年3月 暮見トンネル貫通



59年6月 国道一五七号バイパス長山トンネルが開通



59年2月 平泉澄博士逝去。ありし日の平泉氏 右は池田市長

- 59年**
 - 四月 工業振興条例制定。六月 奥越地場産業振興センター建設決定。国道一五七号バイパス長山トンネル開通。「平泉寺荘」市民の保養施設としてスタート。七月 雁が原青少年旅行村オープン。「越前大仏」大門・中門・回廊起工式。八月 日本海オリエンテーリング勝山大大会開催。
- 58年**
 - 五月 林業者健康増進トレーニングセンター、勤労婦人センター、BG勝山海洋センター完成。十月 「越前大仏」大仏殿上棟式。十一月 同五重塔、九龍壁起工式。クリーンセンター着工。勝山病院が総合病院に昇格。
- 57年**
 - 四月 西児童センター完成。二市一村による奥越青少年愛護センター発足。「越前大仏」起工式。七月 遅羽農村環境改善センター完成。
- 56年**
 - 一月 五六豪雪に襲われる。被害総額六一億一、二五〇万円。三月 新広域市町村圏計画策定。四月 福井、勝山、小松線、国道四一六号として昇格。五月 南児童センター完成。六月 勝山市新総合振興計画策定。十一月 公共下水道勝山浄化センター着工。
- 55年**
 - 四月 暮見トンネル開通。六月 東山いこいの森オープン。十月 第十三回国勢調査実施。人口三万〇、八五二人、世帯数七、七三一。
- 54年**
 - 三月 北児童センター完成。四月 農村総合整備モデル事業に着手。五月 長山公園グラウンドに夜間照明施設完成。十月 国道一五七号「勝山国道」開通。
- 53年**
 - 四月 勝山上志比衛生センター完成。六月 市営弓道場完成。十月 市営テニスコート完成。

勝山市の位置

東 経	北 緯	標 高		面 積
		最 高	最 低	
136° 23' 34"	36° 0' 13"	1,671 ^m	75 ^m	253.32 ^{Km²}
136° 39' 44"	36° 9' 17"			

人 口 (59. 8. 1現在)	
男	15,169人
女	16,024人
計	31,193人
世帯数	7,768

歴代市議会議長

歴 代	氏 名	期 間
1・2	山 岸 太之助	S29.9.13~S34.4.7
3・4	中 村 精	S34.4.9~S35.9.6
5	平 井 彦五郎	S35.9.6~S38.8.31
6	松 井 傳兵衛	S38.9.2~S39.12.4
7	田 中 奥兵衛	S39.12.4~S41.1.19
8	河 合 捨 治	S41.1.19~S42.3.18
9	松 井 傳兵衛	S42.3.18~S42.8.31
10	四 谷 興 一	S42.9.4~S46.8.31
11	石 田 己代治	S46.9.2~S50.8.31
12	島 田 實 也	S50.9.4~S54.8.31
13	今井三右衛門	S54.9.7~S58.8.31
14	西 出 巖	S58.9.5~現在

歴代市長

歴 代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1・2	山 内 継 喜	S29.10.15	S37.10.14
3・4	山 内 讓	S37.10.15	S45.10.14
5・6	高 野 春 三	S45.10.15	S51.11.17
7・8	池 田 勤 也	S51.12.26	現 在

歴代助役

歴 代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1・2	光 明 正 道	S30.11.8	S37.10.13
3・4	皿 沢 徳 志	S39.3.28	S47.3.27
5・6	池 田 勤 也	S47.6.24	S51.12.16
7・8	鳥 山 忠 昌	S52.1.24	現 在

歴代市議会副議長

歴 代	氏 名	期 間
1	沢田治郎右衛門	S29.9.13~S30.8.31
2	前 川 俣 吉	S30.9.2~S34.8.31
3	松 山 吉 一	S34.9.1~S35.9.6
4	田 中 奥兵衛	S35.9.6~S38.8.31
5	小 林 清 栄	S38.9.2~S39.12.4
6	島 田 實	S39.12.4~S41.1.19
7	埴山長右衛門	S41.1.19~S42.3.18
8	四 谷 興 一	S42.3.18~S42.8.31
9	島 田 慶 雄	S42.9.4~S44.9.25
10	小 林 廣	S44.12.15~S46.8.31
11	石 倉 清 治	S46.9.2~S48.9.18
12	今井三右衛門	S48.9.29~S50.8.31
13	西 出 巖	S50.9.4~S54.8.31
14	武 内 盛 直	S54.9.7~S58.8.31
15	水 上 晟	S58.9.5~現在

歴代収入役

歴 代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1・2	豊 島 和 助	S30.1.1	S38.3.23
3・4	梅 田 薫	S38.4.10	S46.4.9
5~7	笠 川 馨	S46.4.10	S58.4.9
8	竹 内 仁	S58.10.1	現 在

歴代教育長

歴 代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	伊 藤 保	S29.9.1	S31.9.30
2・3	田 中 深 治	S31.10.1	S39.9.30
4	牧 野 義 一	S39.10.11	S43.10.1
5	松 田 曄	S43.10.14	S44.9.30
6	島 田 正 夫	S44.10.11	S47.10.1
7	山 口 郁 二 郎	S48.1.16	S48.12.10
8・9	齋 藤 忠	S48.12.11	S56.11.4
10	久 保 英 一	S56.11.11	現 在

商工・観光

工業事業所数	570
ノ 従事者数	6,204人
商業事業所数	590
ノ 従事者数	1,642人
産業別就業人口	(55年国勢調査)
第1次産業	2,636人(14.0%)
第2次産業	8,875人(48.0%)
第3次産業	6,962人(38.0%)
製造品出荷額	627億8,000万円
主な内訳	
繊維工業	390億6,000万円
衣服ほか繊維製品	28億4,000万円
窯業・土石製品	26億2,000万円
観光客入込状況 (58年度)	
平泉寺	32万8,000人、雁が原スキー場
10万2,000人、左義長・歳の市・夏まつりなど主要行事に10万人	
関連施設	勤労婦人センター、雁が原青少年旅行村、奥越地場産業振興センター (59年9月着工)

教育・文化

学校教育施設	
幼稚園	8 (園児数 473人)
小学校	10 (児童数2,831人)
中学校	3 (生徒数1,294人)
高校	2 (ノ 1,343人)
社会教育施設	
公民館	10 職員 22人
図書館	1 蔵書19,000冊
教育福祉会館、市民会館	
体育施設	
勤労青少年体育センター、長山公園グラウンド(ナイター)、テニスコート、弁天緑地グラウンド、武道場、弓道場、射撃場、勝山海洋センター	
文化財	国指定3、県指定3、市指定43

市民生活

交通災害共済加入 (59.7現在)	
加入者数	22,093人
加入率	71.0%
消費生活苦情相談受理 (58年度)	30件
出生	月30.8人
死亡	月19.0人
転入	月49.4人
転出	月63.7人
結婚	月13.0組
離婚	月1.8組
電話	1世帯に1台
テレビ	0.98世帯に1台
乗用車	1.2世帯に1台

消防

消防本部職員	31人
自衛消防団員	273人
消防装備	普通ポンプ車4台、水槽付ポンプ車1台、小型動力ポンプ105台、小型動力ポンプ積載車13台、消火栓 855基
火災件数	9件 (58年中)
損害額	2,762万円
救急出動	370回 (58年中)

数字にみる 勝山市

保健衛生

国民健康保険加入状況 (58年度)	
加入世帯数	3,814戸
加入率	49.0%
1人あたりの保険額	37,024円
1人あたりの医療費	125,786円
医療関係	病院2、一般診療所20、歯科診療所7、保健所1、ベッド 316床、医師：29人、歯科医師：10人、薬剤師：61人、保健婦：6人、看護婦(準看含める)：117人
成人病予防検診状況 (58年度)	
成人病	3,258人
胃ガン	892人
婦人ガン	1,052人
一般廃棄物処理状況 (58年度)	
じん芥処理	年間 7,201 t
し尿処理	ノ 10,544kℓ

建設・都市計画

道路状況 (59.4現在)	
国道	41.1km (舗装率 92.2%)
県道	12.1km (舗装率 83.8%)
主要地方道	58.7km (舗装率 100.0%)
市道	851路線 332.2km (舗装率 65.2%)
市営住宅状況	
木造	73棟 73世帯
鉄筋2団地	64世帯
都市公園	26カ所 18.7ha
土地区画整理事業	10カ所 203.6ha
都市計画道路	22.0km

上水道・下水道

上水道普及状況 (58年度)	
給水戸数	5,339戸
ノ人口	21,400人
普及率	84.9%
給水量	189万7,000m ³
下水道計画概要	
第1期事業分	275m ²
計画処理人口	11,373人
処理能力	20,000m ³ /日 (60年8月供用開始)

財政

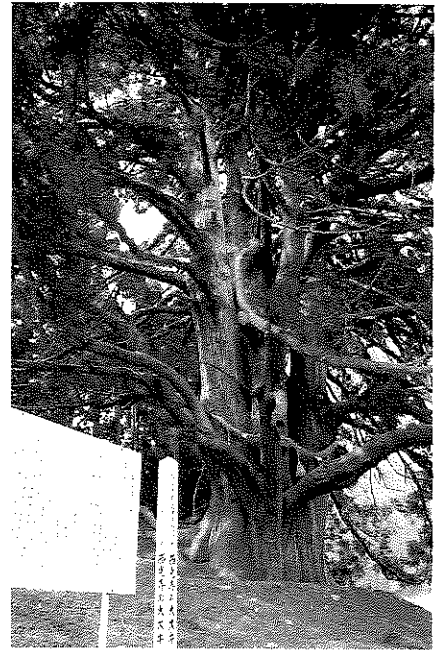
59年度予算規模	
一般会計	76億792万5千円
特別会計 (8会計)	49億8,246万円
企業会計 (1会計)	4億5,344万9千円
130億5,344万9千円	

農林業

農家戸数	2,580戸
ノ人口	12,057人 (55年農業センサス)
経営耕地面積	1,996ha
米の作付面積	1,520ha
米の年収量	6,400 t
主な品種	五百万石(酒米)、コシヒカリ、フクヒカリ
林野総面積	19,890ha
市有林	1,760ha
主な林産物	木材、パルプ材、しいたけ
関連施設	林業者健康増進トレーニングセンター、東山いこいの森

社会福祉

児童福祉施設	
公立保育所	4 (定員 345人)
私立保育所	5 (ノ 435人)
児童センター	3 (ノ 90人)
社会福祉施設	
重度身体障害者療養施設、同接産施設九頭竜ワークショップ、精神薄弱者更生施設大日園、市中心身障児者福祉センター、精神障害回復者作業所ほたるの家	
生活保護世帯人員 (59.3.31現在)	67世帯 88人 保護率 2.9%
国民年金受給状況 (福祉年金)	
老齢福祉	792件 2億2,764万2千円
障害福祉	233件 9,677万9千円 (59.3.31)



市の木「杉」

写真は市を代表する大杉のひとつ
市指定文化財西光寺の大杉



市の花「さつき」

広報かつやま No.344

発行日 昭和59年9月1日

発行 福井県勝山市
〒911 福井県勝山市元町1丁目1番1号
☎(07798)8-1111

編集 企画課